

登別中学校

第2回学校適正配置に関する地区別検討委員会議事録

日時 令和3年10月27日（水）18時00分～19時30分

会場 婦人センター講堂（2F）

○中川会長 皆様お疲れさまです。この検討委員会も2回目ということで、前回に引き続き夜の会議になっておりますが、これから冬になると日も短くなりますので、事務局と相談して、昼間の開催などに関しても検討したいと思いますが、まずは皆さんよろしくお願ひします。

さて、前回は、会長及び副会長を選出し、本委員会の進め方について整理した上で、まずは子どもたちの教育環境を確保する観点から、統合自体の必要性について協議を行いました。協議にあたっては、事務局から、登別中学校の現状と今後の見通しについて説明があったほか、事前に教育委員会で行った保護者アンケートの結果などについて説明がありました。

委員の皆様からは大変貴重なご意見をいただきました。学校は子どもたちの学びの場であると同時に、まちづくりの要としての側面もありますので、まちづくり全体の中で議論すべきではないかとの意見のほか、雇用への影響などを懸念する意見もありました。これらまちづくりに関する部分については、教育的観点から議論を行った後に、市の担当部などの参加も得て話すこととしたところです。

また、教育的観点からの意見としては、アンケート結果やその内容に関しご指摘があったほか、もう少し話しやすい環境で保護者の皆さんから直接お話しを聞く機会があってもよいのではないかとの意見がありました。その他、登別中学校の在校生に、実際の学校生活に関し話を聞くのも一案ではとの意見もありました。これについては、私自身も同様の考えを持っており、今日の議題にもありますとおり、検討委員会の執行部として検討して参りましたので、皆さんからご意見をいただきながら進めて参りたいと思います。

それではさっそく「会議次第2 協議事項」に移ります。はじめに、「(1) 意見交換会等の実施について」、前回の議論を踏まえ、事務局より提案がありますので、説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○中川会長 事務局より、「登別小学校や中学校の保護者、校区内の未就学児童保護者を対象とした意見交換会」と「登別中学校在校生へのインタビュー」に関し提案がありました。事務局からは、それぞれの内容に関し具体的な提案がありました。委員の皆さんが実施案を目にするのは今日が初めてですので、すぐに意見といってもなかなか難しいところはあるかもしれませんが、はじめに「登別小学校や中学校の保護者、校区内の未就学児童保護者を対象とした意見交換会」の内容に関し、委員の皆様から質問、ご意見はありませんでしょうか？

(委員からの意見等なし)

○中川会長 次に、「登別中学校在校生へのインタビュー」の内容に関し、委員の皆様から質問、ご意見はありませんでしょうか？

○委員 在校生インタビューの参加人数は10人を想定ということですが、在校生のうち10人の意見を登別中学校の意見としてしまうことに違和感があります。在校生全員の意見を聞くことは難しいのでしょうか？

○中川会長 在校生10人の意見のみで生徒を代表するものにしてしまうことに対する違和感だと思います。参加人数10人というのは、あくまでも想定であり、事務局案に過ぎませんので、ぜひこの部分に関しても委員の皆さんで議論いただければと思います。

○事務局 生徒全員を集めて意見を聞くというのはなかなか難しい部分があるかと思

います。また、大人数になってしまうと、自分の意見を表明できる子も限られてくるものと思います。そうしたこともあって、例えば在校生にインタビューするとしたら、中学校と相談し、参加者を何人か選んでもらう形になろうかと考えました。ただ、それが登別中学校を代表する意見になるかということと確かに疑問が生じる部分はあろうかと思っています。

○中川会長 参加者の選び方は学校との相談になるのでしょうかけれども、例えば8人程度のグループでの議論となれば、話しやすく、様々な意見が出るものと思います。また、複数のグループで議論すると、すべてのグループで共通した意見が出る一方、グループ独自の意見があったりもして、非常に面白いと思います。

○事務局 学校との相談になりますが、全員参加というのはなかなか難しいにしても、例えば会長からお話があったように、もう少し参加人数を増やして、グループワークのような形で行うこととし、そこに委員の皆さんに入っていただくということは可能であろうと思います。

○中川会長 少しでも多くの生徒の意見を聞く形が作れば良いと思います。

○委員 さきほど委員から指摘があったとおり、人数を10人に限定してしまうと、意見が限られたものになるのではないかと心配します。また、グループワークの形をとった場合に、中学校1年生から3年生までの生徒が一同に会す中で、はたして自分の意見を言えるのかという点は心配です。

加えて、事前に教育委員会から、登別中学校の現状や今後の見通しを説明し、学校小規模化のメリットや課題に関し抽象的に聞くのか、あるいは統合した場合の教育環境といった具体的な質問をするのか、その聞き方によって、回答をある程度コントロールできてしまう部分があるのではないかと思います。さらに、参加人数を10人というように限った場合には、参加者の学習への影響も懸念されるところです。

こうしたことを考えていくと、例えば一案ですが、体育館で全校生徒に対して、

教育委員会から20分程度説明を行い、その後、各教室に地区別検討委員会委員と教育委員会職員がお邪魔してクラス全員に話を聞く。子ども達にとって教室はホームグラウンドですので、かなり話しやすい雰囲気になるのではないかと思います。せっかくインタビューを行うのであれば、子ども達が自由に話せる環境を作ることが重要だと思いますので、さきほど申し上げた形も含めてご検討いただければと思います。

○中川会長 ありがとうございます。いま委員がおっしゃったように、数が多ければそれだけ多くの意見が聞かれると思います。前にもお話ししましたが、以前、2年生全員を対象にグループワークをやったことがあります。それもひとつの方法かなと思いますので、是非検討してみたいと思います。子どもたちの貴重な時間をいただくわけですので、なるべく多くの子どもたちの意見を聞けるようにしていきたいと思います。

○事務局 委員の皆様から非常に発展的な意見をいただきましたので、これを参考に、どのような形であれば実現可能か、学校と協議させていただき、事務局で再度実施方法を検討して、委員の皆様にお知らせしたいと思います。

○委員 やはり私としては、子どもたちにとってどのような形が一番良いのか、子どもたちにとって最も過ごしやすい中学校はどのような形態なのかを考えていきたいと思います。そこで提案なのですが、旧登別温泉中学校が登別中学校に統合した際の在校生に話を聞いてみてはどうかと思います。統合を経験している同窓生に、統合して良かったことや悪かったこと、辛かったことなどを聞いてみたいと思います。それを参考に、統合すべきか否か、また統合するとすればどういった方法で子どもたちの負担を減らしていけばいいのかを考えていただければと思います。統合となれば大人数の中に少人数の集団が入っていくこととなりますので、子どもたちの精神的負担も大きいのではと思いますし、実際に何らかのトラブルが生じることも予想されますが、そうした問題を出来るだけ小さくするにはどのような方策があるのか、それを検討するためにも、是非、旧登別温泉中学校同窓

生の話を聞いてみたいと思います。

○中川会長 平成16年度に旧登別温泉中学校が登別中学校と統合してから17年たつわけですが、統合当時は、子どもたちのプレッシャーも相当なものだったと思います。そうした意味では、その当時の旧登別温泉中学校同窓生の話を聞くのは、仮に統合するとした場合の対策を考える上でも重要だと思います。やはり子どもたちがストレスなくのびのびと過ごせる環境を整えるのは大人の役割だと思いますので、同窓生の話なども参考に検討していきたいと思います。

○委員 先ほど委員がおっしゃったとおり、仮に統合となれば、大きなところに小さな集団が入っていく感覚がありますので、非常に不安だと思います。登別小学校や登別中学校の子どもたちには、素直な子が多い印象で、当たっていただけろという感じの子が多いような気がしますので、仮に統合となった場合には、そこをどうフォローしていくのが重要だと思います。そういう意味では、先生達、また私たち保護者が、子どもたちをフォローする力をつけないとだめだと思います。そういう意味では、小学生、中学生の子を持つ親として、是非、旧登別温泉中学校同窓生の話を聞いてみたいと思います。そうした機会を通して、私たちも勉強していければいいのかなと思います。

○委員 現在でも、登別小学校から登別中学校に進学する際に、いわゆる中1ギャップというもので、登校が難しくなる生徒はいるのではないかと思います。ましてや違う地区の中学校に進学となれば、精神的な不安は大きく、ストレスも相当なのではないかと思います。その時に、そうしたストレスをどうやって解消するのか、その手だてを大人が考えてあげなければならないのかなと思います。それは家庭であったり地域であったり、教育委員会であったりするかもしれませんが、問題を抱えた時に手助けをする組織なり手だてなりを子どもたちに知ってもらい、そうすることによって、子どもが自ら助けを求めることもできるようになるのかなと思います。また、マイナスの話ばかりしましたが、逆に大きい学校に行くことで、勉強やスポーツに意欲を持つ子供もいると思いますし、今までよりも

広い交友関係を持つことができるようになる、そうしたプラス面を子どもたちに伝えていくことも大事だと思います。

○委員 先ほどから、旧登別温泉中学校と登別中学校の統合時の話が出ていますが、まさにその時期に子どもが登別中学校に在籍しておりました。その際には、統合の数年前から、相当入念に交流事業などを行い、子どもたちの不安を解消するよう、教育委員会が中心となってプログラムを用意していたものと記憶しています。仮に統合となれば、子どもたちの不安を解消するためにも、そうした取組は是非お願いしたいと思います。ただ、地域の立場からいうと、この地区に学校があるからこそ、地域住民も子どもたちひとりひとりを認識している部分があるかと思いますが、仮に統合となって、この地域に学校が無くなってしまえば、そのようにはならないと思います。また、私自身、登別中学校の学校運営協議会委員をやっていますが、ここ数年、学校運営で地域がひとつのキーワードになってきています。学校運営に地域が関わり、教育活動を地域性豊かなものにするとともに、それによって子どもたちの地域への愛着を育てていくということかと思っています。そうした意味では、単に学校の規模を求めるのではなく、地域という視点も持って考えていかなければならないと思います。

○委員 私の娘が小学校2年生になる数年前に、旧登別温泉小学校と登別小学校の統合が決まりまして、ちょうどその頃、富岸地区からカルルス地区に引っ越したため、数年後に統合を控えていたということもあり、統合に先んじて登別小学校に入学させました。ただ、転校後一定期間は新しい環境になじむことができていないのかなあという印象がありました。ただ、転校から数カ月経過すると、もとの様子を取り戻し、友達と楽し気に帰ってくる様子もみられるようになりました。そうした意味では、やはり子どもといえども、新しい環境に慣れるのに時間が必要だと思いますし、仮に統合となれば、心のケアは重要だと思います。ただ、地域の観点から申し上げれば、学校が地域コミュニティを下支えしている部分がありますので、カルルス地区から小学校が無くなった時には、住民の集まる機会が少なくなってしまうと思います。同じように、登別地区も中学校が無くなってしまえば、

学校を中心に地域交流が図られていたものが次第に希薄になっていってしまうと思います。先ほど委員からもあったとおり、地域というキーワードで考えれば、学校が統廃合で無くなるということは、地域にとっては間違いなくマイナスだと思います。子どもの教育環境ということで考えれば、学力の向上であったり、部活動の充実であったり、プラスの面もあるかと思いますが、地域のことを考えれば、明らかにマイナスだと思います。過去の世代がこの地域の良さを大事にしながら、次世代に引き継ぐということを繰り返してきたわけですが、中学校を無くしてしまえば、それが無くなってしまわないか。ただ、先日の教育委員会からの説明にもあったとおり、今のままでいけば、この地域の子どもの数は減少していくのが明らかですので、例えば、虎杖浜などの遠隔地から生徒を受け入れて、学校の規模を維持していくといったことも考えてはどうでしょうか。いずれにしても、私としては、中学校を残すことを前提に、残すための方策を考えていきたいと思います。

○中川会長 委員の皆様からは様々な意見をいただきました。皆様からいただいた意見を参考に今後も議論を続けていきたいと思います。本日の議題、保護者を対象とした意見交換会と在校生のインタビューについては、本日委員の皆様からいただいた意見も参考に、引き続き事務局で実施方法を検討し、実施時期や実施の詳細は会長に一任していただくことでよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○中川会長 会長に一任いただきましたので、そのような方向で進めたいと思います。事務局より、今後の進め方について説明願います。

○事務局 保護者を対象とした意見交換会については、事務局案どおり準備を進めさせていただきます。また、在校生のインタビューについては、委員から具体的なお意見をいただきましたので、それを踏まえて、登別中学校と調整させていただきたいと思います。それともう一点、委員から、これは在校生のインタビューとは少

し違って、平成16年4月の旧登別温泉中学校と登別中学校の統合を経験した旧温泉中学校の同窓生の方に、その時の経験を聞いてみたいというご意見をいただきましたので、会長、副会長と相談し、調整させていただきたいと思います。いずれにつきましても、日程等が固まりましたら、別途、委員の皆様にお知らせいたします。

○中川会長 意見交換会や在校生インタビューなどに、多くの委員の方々にご参加いただけるよう事務局と相談いたしますので、よろしくお願いいたします。最後に会議次第3の「その他」について、事務局から何かありますでしょうか？

○事務局 次回についてであります。当初は11月の開催を考えておりましたが、保護者を対象とした意見交換会や在校生のインタビューなどを今後実施していくことになり、その結果を材料に議論するということを考えれば、次回の委員会については、時期を延期し、意見交換会など実施後に開催することがよろしいかと思えます。このため、日程については再度調整し、後日あらためて事務局から連絡させていただきたいと思えます。

○中川会長 その他、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。無いようですので、これで「登別中学校 第2回学校適正配置に関する地区別検討委員会」を終了します。皆さん、長時間に亘りありがとうございました。